

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おーじやん三木加佐			
○保護者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名（29世帯）	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	2025年12月8日 ~ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月29日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの特性に合わせたプログラムの立案や、発達段階に合わせた遊びの提供を行っている。	一日のスケジュールを自ら立て、自ら選択し、行動きるように支援している。 各種発達検査から、正確なアセスメントを行い児童への理解を深めている。	絵カードや文字カード、見通しボードやタイマーを用いて取り組んでいます。 視覚的にわかりやすいスケジュールや、児童の興味関心や発達段階に合わせた遊びや外出の提供。
2	徹底した視覚支援を行い伝わりやすい環境設定を行うと共に、言葉の表出が難しい児童に対して絵カードでのコミュニケーションを行っている。	視覚支援を用いた選択を行う。 見通しボード、絵カード、ホワイトボードを提供し、自己決定ができる力がつくように支援しています。	見通しボード、絵カードを用いて本人が自身で表出したりスケジュールを組み立てたり写真から選択したりする取り組みを行っています。
3	ルール遊びや子ども同士の関わり合いの中で、空いての気持ちに気づいたり自分の考えを伝えたりしながら折り合ったり交渉したりする力をつけることができるよう支援している。	ルール遊びでは、視覚的にルールを提示。 お友達の気持ちを支援者が代弁したり、状況の解説を行うことで理解を促しています。	コミック会話の絵カードを用いたり、発達に合わせた難易度の遊びの提供を行っています。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われるること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催、保護者同士の交流機会が設けられるなどイベント開催が行われていない	本年度、初めてクリスマス会を実施した。 会の中で、保護者通し話をする時間などもあったが、具体的な交流としては不十分であった。	毎年のクリスマス会やその他イベントの中で、保護者同士の交流の機会を検討する。
2	家族に対して家族支援プログラムや家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない。	保護者会、ペアレントトレーニングプログラムに対する知見が職員に無く、具体的な取り組みが実施ができていない。	保護者参観や日々の面談の中で、保護者の悩みや児童に対するアタッチメントに対する助言を行う。また、ペアレントトレーニングに対する勉強会を実施し、職員の技術力の向上を図る。
3	おーじやん通信やホームページ、行事予定等の連絡体制等、保護者に対する情報発信の機会が少なかった。	行事予定やLINEにて連絡を密に取るように心がけてはいるが、具体的な広報は行えていない。	定期的に、療育の内容を伝えることができるような通信を作成することを検討する。